



食育だより vol.7 柳井市立小田小学校

1月24日～30日は、全国学校給食週間です！



小田小学校は今年度、創立150周年ですね。実は、学校給食にも約130年の歴史があります。

みなさんは給食のはじまりを知っていますか？食育だより1月号では、学校給食の歴史や今の給食について紹介します。

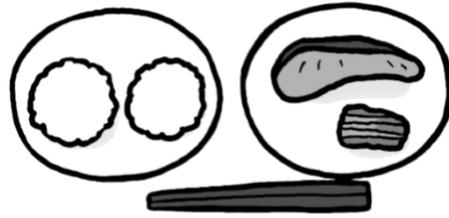
学校給食の歴史

全国学校給食週間
1月24日～30日

日本の学校給食は明治22(1889)年、山形県鶴岡市で始まりました。戦争による中断を経て、昭和22(1947)年1月から都市部の小学校を中心に再開しました。昭和29(1954)年には学校給食法が制定され、学校教育の一環として位置づけられています。そして今日まで、日本の子どもたちの健やかな成長を支えています。

明治22(1889)年

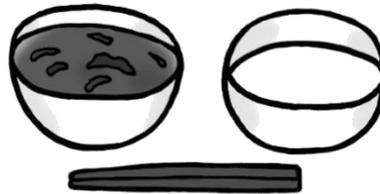
山形県鶴岡町(現・鶴岡市)私立忠愛小学校で日本初の学校給食が行われました。その後、全国各地で給食が実施されていましたが、太平洋戦争が始まると物資不足等から中断に追い込まれてしまいました。



おにぎり、塩さけ、菜の漬物

昭和21(1946)年12月24日

米の援助団体ララからの支援物資により、学校給食が再開。この日を「学校給食感謝の日」と決めました。その後、ユニセフなどからも脱脂粉乳などの寄贈を受けました。



ミルク(脱脂粉乳)、トマトシチュウ

昭和25(1950)年

ララやユニセフなどに感謝し、学校給食が戦後再出発した意義を考え、冬休みと重ならない1月24日から30日までの1週間を「全国学校給食週間」としました。

昭和29(1954)年

学校給食法が制定されました。学校給食を教育活動の1つに位置づけました。



コッペパン、ミルク(脱脂粉乳)、くじら肉の竜田揚げ、せんきゃべつ、ジャム

平成17(2005)年

食育基本法が制定されました。食は知育・徳育・体育の基礎となり、生きる力を育むもので、食を社会全体の問題として扱うことをうたっています。学校給食も食育推進の中心的な役割を担っています。

～現在の給食～



みんなの今の給食と比べてみて、どう思うかな？

